

授業科目名	社会的養護 I	担当教員名	入江 実
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める 科目区分 等	保育の本質・目的の理解に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	前期 (1-2期) / 年間開講数 2講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童養護施設主任児童指導員としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の概要 及び 全体目標	核家族化の進行が家庭での扶養能力を低下させ、子育てと介護が社会問題化してきた。この領域の支援策として社会的養護の充実がなされている。子育てには保育士、介護は介護福祉士という社会的養護の専門家の役割や課題を理解してもらう。また講義形式で教科書中心に、①現代社会における社会的養護の意義 ②社会的養護と児童家庭福祉 ③施設養護の実践 ④社会的養護の現状と課題を学習することになっている。		
到達目標	(1)現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。 (2)子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。 (3)社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 (4)社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解する。 (5)社会的養護の現状と課題について理解する。		
テキスト	「社会的養護入門」芝野松次郎/新川幸弘/山川宏和編著 (ミネルヴァ書房)		
参考書・ 参考資料等	指定せず		
成績評価の方法	○授業参加意欲：35% ○新聞記事等によるレポート：20% ○授業内試験：45%		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等			
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	はじめに		
第2回	第1章 現代社会における社会的養護の意義 (p 1) 1. 社会的養護と関連概念	(1)	
第3回	第1章 現代社会における社会的養護の意義 (p 1) 1. 社会的養護と関連概念	(3),(4)	
第4回	第1章 2. 社会的養護の基本的な考え方と体系	(1)	
第5回	第1章 2. 社会的養護の基本的な考え方と体系	(1)	
第6回	第1章 3. 社会的養護の現状と方向	(2)	
第7回	第1章 3. 社会的養護の現状と方向	(2)	
第8回	中間まとめ	(2)	
第9回	第3章 社会的養護の基本、制度、法体系 (p 26) 1. 社会的養護における子どもの人権養護	(3)	
第10回	第3章 社会的養護の基本、制度、法体系 (p 26) 1. 社会的養護における子どもの人権養護	(3)	
第11回	第3章 2. 社会的養護の基本原則	(3)	
第12回	第3章 2. 社会的養護の基本原則	(3)	
第13回	第3章 3. 社会的養護における保育士の倫理と責務	(3)	
第14回	第3章 3. 社会的養護における保育士の倫理と責務	(3)	
第15回	まとめ		